

フィリップ FX マニュアル

目次

目次.....	1
1、ログインについて.....	2
2. 取引方法について.....	5
・成行での新規建玉.....	6
・指値での新規建玉.....	7
・成行と同時に決済の指値注文や OCO 注文を設定する.....	9
・決済注文を出すには.....	11
・ポジションに決済注文をつける.....	12
・指値注文の変更と削除.....	17
3. チャートを見るには.....	19
・チャートメニューから見る.....	19
・取引レート画面から見る.....	24

1. ログイン

以下がログインの画面です。ユーザーネームやパスワードの入力欄をタッチするとキーボードが現れます。アカウントタイプは取引口座の場合「Real38」、デモ取引口座の場合「Demo38」を選びます。入力後は Done をタッチし、ログインボタンを押します。



ログイン中の画面



ログイン後、最初に表示される画面は取引レート画面です。右上のメニューボタンをタッチすると、メニュー画面が表示されます。



以下の画像がメニュー画面です。



Rates＝取引レート 現在のマーケットレートの確認や、新規建玉するときに使います。本日の高値や安値も確認できます。

Accounts＝現在の含み損益や、残高等の口座状況を確認するのに使います。

Orders＝注文画面 指値注文の一覧が表示されます。指値注文の変更や削除の行えます

Positions=現在保有中のポジションの一覧が表示されます。決済等も行えます。

History=決済履歴


Instruments=取引できる通貨ペアの設定が行えます

Charts=チャートを表示します

Settings=設定画面

○ログオフについて



ログオフする場合は右下の  をタッチします。

確認画面が出ますので「Log off」をタッチしてログオフします。

ログオフせずに続行する場合は「Cancel」をタッチします。

2. 取引



メニューの「Rates」をクリックします。クリック後には以下の画面になります。



取引したい通貨ペアの売か買をタッチします。売り／買いをクリックすると以下の画面に移ります。



<成り行きでの新規建玉>

以下はドル円買いの注文画面です。「成り行き」か「指値」を選択します。

取引したい数量を▼▲で指定し、OKをタッチします



発注可能なレートが表示されます。

出した成り行き注文が約定していない状態の画面（約定待ちの状態）



※ 注文が約定すると上記の画面は消えますが、必ず「Positions」画面で保有ポジションの確認を行ってください

以下はリジェクト(拒否)の画面です。約定前にマーケットレートが不利な方向に動いた場合、このメッセージが表示されます。

新しいレートで取引する場合、「新しいプラ...許可する」(新しいプライスを許可する)をタッチします。注文をキャンセルする場合は、「Remove Order(秒数)」をクリックします。

※秒数が0になるとその注文は自動的に取り消しになります




<指値での新規建玉>

指値のレートと数量(ロット数)を設定し、OK をタッチします。



注文したいレートを設定します。
左側の数字は指値注文可能な直近レートです。
・逆指値の場合 Stop rate と同じかこれより大きく
・指値の場合 Limit rate と同じかこれより小さく

レートは▼▲の矢印をタッチすることでかえることも出来ますが、直接入力もできます。

数字をタッチするとキーボードが現れますので、一度  で既存の数値を削除してから、注文したいレートを入力し、Return をタッチします。



<建玉と同時に決済の指値注文・OCO 注文を設定する>


成り行き注文画面上の「ストップ」と「リミット」を設定することで決済の指値注文が同時に出せます。
ストップとリミット両方設定すると、OCO 注文となります



オフになっているとストップ・リミット注文が設定されていません。タッチしてオンにします。



オンになった状態。レートを設定します。

レートを直接入力するときは、数字をタッチするとキーボードが現れます、一度  で既存の数値を削除してから、設定したいレートを入力し、Return をタッチします。

※ ピップ差は現在のレートから注文する指値レートの差をピップ数で表し、予想純損益はそのレートでポジションが決済された際の予想損益を表します。


<決済方法>



メニューの「Positions」から決済したいポジションをタッチします。

保有ポジションが一覧表示されます。決済したポジションをタッチします。(例では一番上のUSDJPY82.59の買を決済します)



ポジションの詳細が表示されますので、決済する場合、左上の決済  をタッチします。

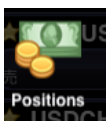


現在のレートで決済した場合の損益です。損益はピップ差の金額を、純損益はスワップ金利を含んだ金額が表示されます。

同ポジションで複数ロットある場合、取引量で決済したいロット数を▼▲で選びOKをタッチします。



決済されたポジション情報はメニューの「History」に反映されます
<保有ポジションに決済指値注文をつける>



メニューの「Positions」から決済指値注文をつけたいポジションをタッチします。



ストップ注文(逆指値注文)かリミット注文(Limit:指値注文)、どちらかタッチします。



※ 「ヘッジ」とは両建てのことです。両建て取引は利益を生むものではなくリスクを伴います。
弊社では両建て取引の推奨は行っておりません。

以下がリミット注文の設定画面です



注文したいレートを入力します。
Rate: で表示されるレートは直近の
設定可能レートです。これと同じか
これより大きく設定する必要があります。

以下がストップ注文の設定画面です



注文したいレートを入力します。
Rate: で表示されるレートは直近の
設定可能レートです。これと同じか
これより小さく設定する必要があります。

ピップ差とは、設定したレートと現在のマーケットレートの差をピップ数で表します。
予想純損益は、設定した指値注文がもし約定された場合の予想順損益を表します。

<指値注文の変更・削除>



指値注文の変更・削除は、メニューの「Orders」から行います

設定されている注文の一覧が表示されます



タッチすると以下のように詳細が表示されます



Proximity とは、現在のマーケットレートからどれだけ離れているのかをピップ数で表します。
決済の指値注文は「positions」画面の各ポジション詳細ページでも確認できます。

3. チャートを見る

- ・ チャートメニューを使う



メニューから「Chart」をタッチします。

以下のようにチャートセットアップ画面がでます。



左側から通貨ペアを、右側から時間を選択します。

「ロ...足」=ロウソク足

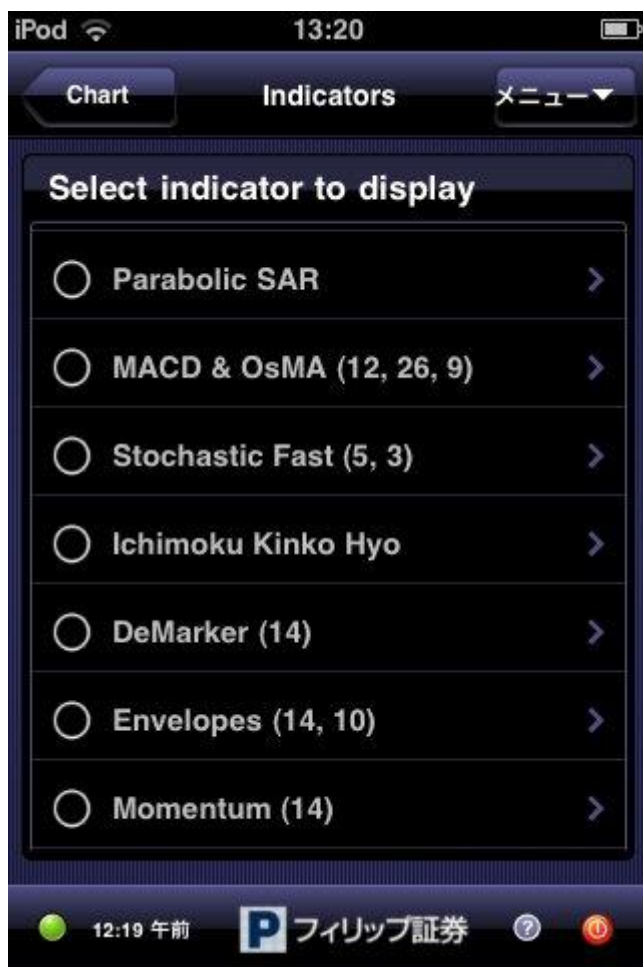
「バ...ト」=バーチャート

「ラ...ト」=ラインチャート

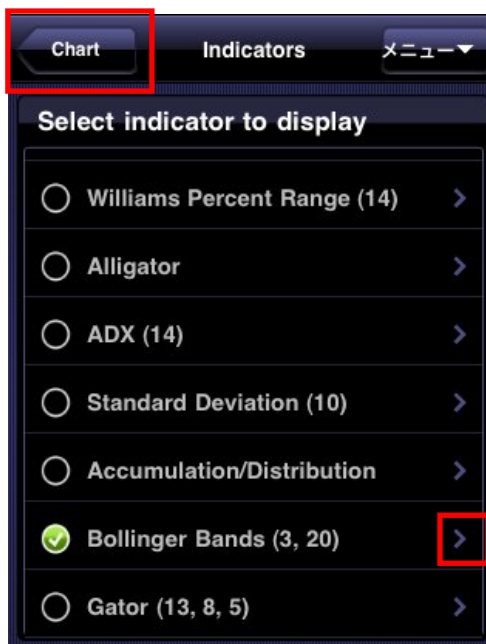
以下は EURJPY の 4 時間足です。



をタッチするとインジケータ（分析ツール）の一覧がでます。全部で21種類あります。



例ではボリンジャーバンドを出します。Bollinger Bands を選択→「Chart」をタッチするとチャートに戻り、>をタッチすると、インジケーターの設定画面に移ります。



インジケーター(ボリンジャーバンド)が表示された画面



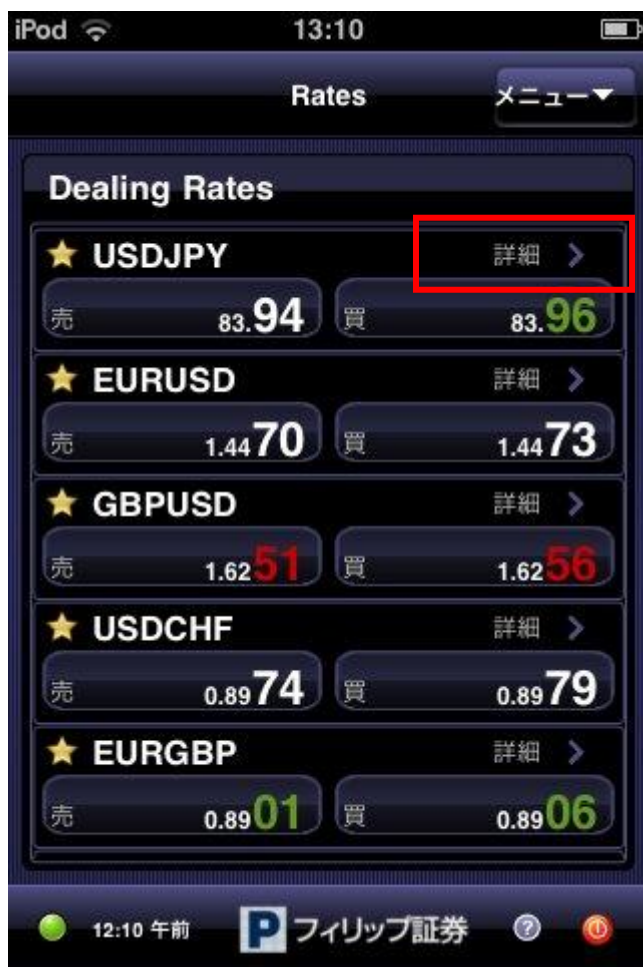
以下はインジケーターの設定画面です。色やタイムスパン、パラメーターを変更できます。変更後、OKをクリックすると、一覧に戻ります。「Chart」をタッチしてチャートに戻ります。



例では、ボリンジャーバンドの Deviation を3、Period を 20 に設定しました。

- ・ 取引レート画面でチャートを見る

取引レート画面で通貨ペアの横にある詳細ボタンをタッチします。



その通貨のチャートが表示されます。Tick(ティック)、5分足、30分足、1時間足、日足が選べます。



Bid:売値

Ask:買値

High:高値

Low:安値

Net Change:前日比 (Pip)

% Change:前日比 (%)

Pip value:ピップバリュー